鯉幟を建てる時の注意です。

A　竹や杉で建てる場合の穴の掘り方

1 電線や障害物に注意して 竿をあげる際の 角度を考えて、位置を決める

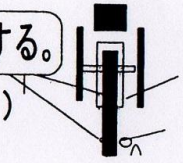
2 一般的には、直径約 60 cm位・深さ 100 cm の穴を掘ります。
鯉と旗用を2本建てる場合は、鯉の長さ+1m位 間隔をあける。
（ 図－1 参照 ）

3 市販の穴掘り器具（ホームセンター3,500 円位）を使用すると楽です。貸出しもしています。

4 同時並行で、矢車（やぐるま） と
旗用掲揚器具（はたようけいようきぐ）を組み立てます。

5 竹や杉の先端部分は、矢車・掲揚器具の筒の内径より小さめにしないと、セットできませんのでご注意ください！

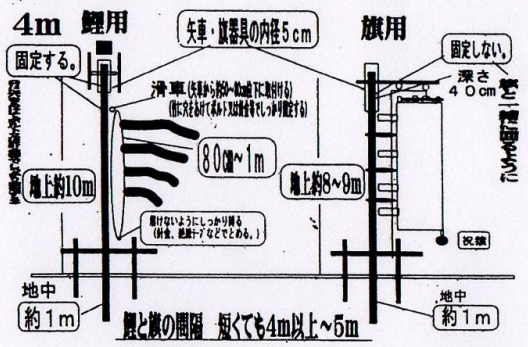
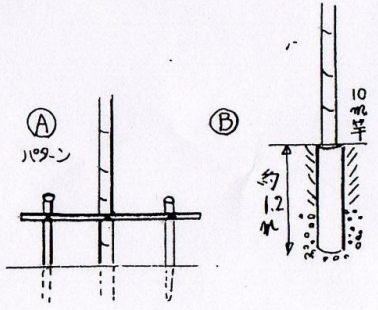
6　竹や杉の先端部部分に**矢車を固定**します。**（鯉幟の方です）**
矢車の最下部から50～80cm位あけて滑車を固定し、
ロープを通して、ロープの先をしっかり結びます。
（ 図－2 参照 ）



7　竹や杉の先端部部分に**掲揚器具をセット**します。
（掲揚器具は回転させる為、固定しません）ロープを通して、
ロープの先を しっかり結びます。

8　7 まで終了したら、それぞれの、穴に 鯉用・旗用の
竿を設置いたします。

・人手で行う場合は数人で 穴の所に1名・竿を2名位で
障害物などに気を付けて、持ち上げます。

・土台部分は、砂利や 土で しっかり固定します。
ホームセンターなどの 杭（くい）使用する方法や、
VP パイプなどを1M位カットして穴に埋め込む方法など、
いろいろございます。　（ 図－3 参照 ）

図－1参照）